

会 議 録		令和7年3月7日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府山科警察署協議会（令和6年度第4回）		
開催日	令和7年2月27日（木曜日）		
時 間	午後3時から午後4時30分までの間（90分）		
場 所	京都府山科警察署 署長室		
出席者	古川会長、西川副会長、山下（明）副会長、川中委員、有本委員、西村委員、角田委員、山下（恒）委員、三谷委員、園部委員、樋口委員、井内委員（欠席 浦野委員） 計12人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長 計10人		
諮 問 事 項	警察の災害警備活動		
会 議 内 容	1 会長挨拶	司会	副署長
	2 署長挨拶		
	3 協議	司会	会長
	(1) 諮問事項説明 警察の災害警備活動～警備課長		
	【委員】実家が能登なので毎月帰るようにしているが、災害警備の体験談を聞いて、本当にありがたいと思った。 震災当初から、支援に来てくださっている方の生活環境が悪いという話が出ており、今日は本当に頭が下がる思いで話を聞かせてもらった。 私は、山科区役所の子どもはぐくみ室で勤務しているが、はぐくみ室からも七尾市に派遣されており、このような派遣システムが構築されていることは知っていた。		
	【委員】災害発生時に部隊編成が行われ、被災地に派遣されるということはよく分かったが、極寒の北海道が被災地になったとしても派遣されるのか。 極寒の地に対する装備やスペックをあげるためにも、もっと予算が必要なのではないか。		
	【警察】北は北海道から、南は沖縄まで、全国警察でカバーすることになっており、どこにでも派遣される。		
	【委員】猛暑の場合では、食中毒などの衛生的な問題が発生する。極寒には極寒		

の、猛暑には猛暑の装備が必要となってくるのではないか。

【警察】年々装備は良くなっている。

派遣される度に、反省教訓を繰り返すことによって装備の改良が図られており、以前と比較すると格段に良い装備になっている。

【委員】京都で災害が起きた場合、他府県から派遣された部隊はどこに駐屯するのか。

都市部では、学校の運動場や大型スーパーの駐車場くらいしか駐屯する場所がないのではないか。

【警察】被災地の警察が派遣された部隊の面倒までみるということは本末転倒である。派遣部隊は自分たちのことは自分たちですするという完結型で派遣されているので、現場から離れた場所であっても空いている場所に駐屯する。

【委員】現場から離れた場所に駐屯すれば、駐屯地から現場までは自力で行くのか。

【警察】そのとおりである。

【委員】先ほどの災害警備訓練では、警察官がトリアージと言っていた。

私も医療関係者であり、トリアージについては消防の仕事だと思っていたが、そのような訓練もしているのか。

【警察】専門的な知識がないので、スタートトリアージをしている。

脈拍や呼吸の回数などから傷病者のふるい分けをし、赤、緑、黄色の判断を行う訓練をしている。

【委員】骨折時に固定するなどの応急処置もするのか。

【警察】速やかに救出するのが任務であるが、痛みを伴って救出困難な場合などは、自分たちで出来る限りの応急処置をする。

【警察】DMAT（ディーマット）と呼ばれる災害派遣医療チームがあり、DMATが災害現場に派遣されることを想定して、DMATと合同での訓練も行っている。

【委員】派遣部隊の生活環境が悪いとのことであるが、靴に穴が開いた場合には、新しい靴が支給されるのか。

【警察】穴が開いた状態のまま使用すれば怪我の元となるので、受傷事故防止の観点から靴の補修を行い、使用している。

【委員】たまには温かい食事をとるなど、健康に配慮した状態で救助にあたってもらえば、もっと力を発揮してもらえる気がする。

【警察】被災直後は被災地の方が大変な思いをされているので、部隊としても我慢が必要であるが、被災地が落ち着いた状態になれば、建物を借りたり出来るようになる。

【委員】災害派遣の装備については、どのように配備されているのか。

【警察】装備は格段に向上しており、救助用の道具が開発されれば配備されるようになっている。

他府県で役立った装備が京都にも配備されたりしている。

(2) その他

会 議
内 容

【委員】外環状線は、柳辻交差点までの南行車線が渋滞していることが多いが、右折レーンは空いているのでスピードを出す車が多く、北行右折の車と衝突しかけているのを何度も見た。

外環状線の事故が多いのは、このせいではないのか。

【警察】外環状線で多い事故は、追突である。

その他の事故では、路外施設から外環状線に出る時、外環状線から路外施設に入る時の巻き込み事故が多い。

柳辻の交差点については、道路形状上交互通行をしており、矢印で制御して流れるようにしているが、交通量が多い。

【警察】近年、山科区も栄えてきており、交通量は増えている。

【委員】2029年に、JR山科駅が地上6階、地下2階の駅になり、山科区を京都の玄関口にすると聞いている。

観光客が増えると、今までにない対応を迫られると思うが、警察として懸念していることはあるのか。

【警察】治安情勢の変化は予測できるため、その都度対応していく。

貴重な意見を伺い、今後の業務の参考とさせていただく。

4 事務連絡

令和7年度第1回山科警察署協議会は、令和7年6月中に実施予定である。

以上

第4回京都府山科警察署協議会の開催状況

